

NHKの朝の連続ドラマ、『花子とアン』の評判が良い。「こびっと」なんて郡内ではあまり使わないが、いいなあと思います。このドラマで主人公花子と蓮子の友情がドラマに花を添えています。

「親友」という本当に心の許せる友が、あなたにはいますか。そう問われて、どのくらいの人が「はい」と答えるだろうか。「はい」と返事のできる人は幸せな人です。

私は、大学時代にそんな一人に出会えたと思っています。一年留年して復学したクラスにその友達がいました。なぜ親しくなったのかはつきり覚えてはいませんが、『映画』だったような気がします。びっくりしたのは評論家になれそうなくらい、その友達は洋画に詳しくたからです。「鉄道員」・「パリの屋根の下」などの名作を五反田や渋谷の街の名画座でよく見るようになり、すっかりそのとりこになってしまい、映画館通いが始まりました。

映画の世界を教えてもらった代わりに、何をしたのか覚えていませんが、当時、私は本をたくさん読んでいましたので、多くの本を紹介してあげることができました。

それから、何かと相談にのつたりおられたり、就職・結婚と環境も変わり住む場所も遠くなりましたが、親交は長く続きました。

親友とはどのような友達なのでしょう。まずお互いに遠慮がいらりません。何でも言い合えるオープンな関係です。そんな夢のような人間関係があるのでしょうか。それは、親友のいる人にしかわかりません。

自然にこんな都合の良い関係が築けるものではなく、二人の日常の努力もあるだろうし、相性(DNA)に由来するのかも知れません。男女の場合では結婚に至ることもあるかも知れないし、同性の場合では遠く離れてしまうと、会うこともまれになり、心の中の親友という関係になっていくことが多くなると思います。

私の場合も十年くらいは近くにて月に何回というように会っていましたが、それからは手紙や電話、会うのは何年に一回というようになっていきました。今では、もう会うこともできなくなった親友に感謝しています。

子どもの頃は、遊び友達や少年野球等スポーツなどを通じて親しい友達ができる機会を多く持つことが大切だと思えます。

今の子どもたちにとって、「親友がいますか」と問われて「はい」と答えられるような人間関係が築けるような社会であってほしいものです。

連載・青少年健全育成シリーズ 第279回

「親友について」



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市市民会議編集委員

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。  
掲載状況は、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄